SONY

4-105-996-J1(1)

デジタルスチルカメラ
取扱説明書

DSC-G3

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot

お使いになる前に必ずお読みください

内蔵メモリーおよび“メモリースティック デュオ”のバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーや“メモリースティック デュオ”を取り出したりすると、内蔵メモリーのデータや“メモリースティック デュオ”のデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていない“メモリースティック デュオ”を本機に挿入し電源を入れると、“メモリースティック デュオ”の一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成します。次の操作まで時間がかかることがあります。

録画・再生に際してのご注意

- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(57ページ)。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(57ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- 液晶画面に水滴などがついて濡れてしまった場合は、すぐに柔らかい布でふき取ってください。放置すると液晶画面の表面が変質したり劣化して故障の原因になります。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
- 本製品を分解/改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本製品は2.4GHz 帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS/OF2

この無線機器は2.4GHz 帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は20m 以下です。

ワイヤレス LAN 機能の使用地域について

ワイヤレスLAN機能は、日本国内でのみ使用できます。

ワイヤレス LAN 機能について

- 本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA(Wi-Fi Alliance)で規定された「Wi-Fi(ワイファイ)仕様」に適合していることが確認されています。
- Webブラウザは、全てのワイヤレスLANアクセスポイントやホームページにてご利用いただけるわけではありません。ワイヤレスLANへのアクセスは、地域によってご利用できない可能性や、別途料金が課せられる可能性、通信に障害が起きたり途切れがちになったりする可能性があります。詳細についてはワイヤレスLANの管理者やプロバイダーにご確認ください。
- Webブラウザのご提供にあたっては弊社はいかなる保障もいたしません。Webブラウザの使用によって生じた損害について、第三者からのいかなる請求等についても一切の責任を負いかねます。

ワイヤレス LAN 製品使用時のセキュリティーに関するご注意

ワイヤレスLANではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。
セキュリティー対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

⚠警告 安全のために

58～60ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら

❶ **電源を切る**
❷ **電池をはずす**
❸ **ソニーの相談窓口に連絡する**

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。**
❷ **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**
❸ **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**
❹ **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

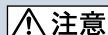
この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、
けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

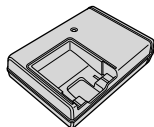
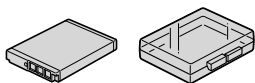
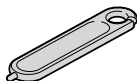
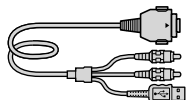
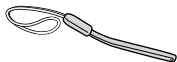
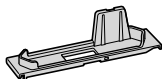
電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

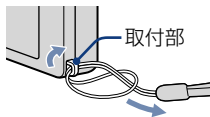
目次

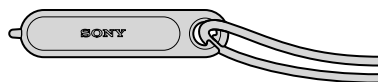
付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- バッテリーチャージャー BC-CSD（1）

- リチャージャブルバッテリーパック NP-BD1 （1）/バッテリーケース（1）

- ペイントペン（1）

- マルチ端子専用USB・A/Vケーブル（1）

- リストストラップ（1）

- ステーションプレートH（1）
  サイバーショットステーション（別売）に本機を取り付けるときに使います。

- CD-ROM（1）
  - サイバーショットアプリケーションソフトウェア
  - 「サイバーショットハンドブック」
  - 「サイバーショットステップアップガイド」
- 取扱説明書（本書）（1）
- 保証書（1）

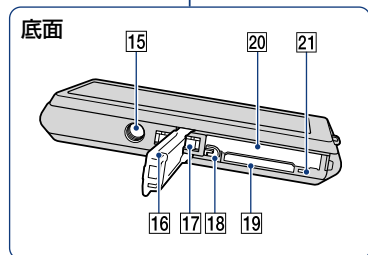
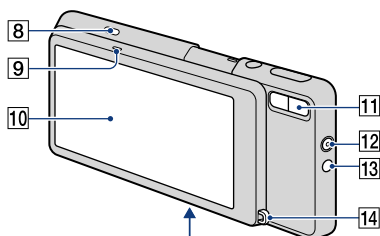
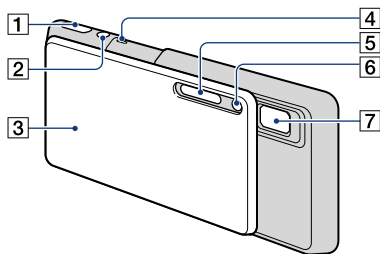
リストストラップを使う

落下防止のため、ストラップを取り付け、手をとおしてご使用ください。

ペイントペンを使う

タッチパネルを操作するときに使います。リストストラップに取り付けて使えます。

ご注意

- ペイントペンを持って、本機を持ち運ばないでください。本機が落下するおそれがあります。

準備する

各部の名前を確認する

1 シャッターボタン

2 ▶(再生)ボタン

3 レンズカバー

4 マイク

5 フラッシュ

6 セルフタイマーランプ/スマイルシャッターランプ/AF イルミネーターランプ

7 レンズ

8 WLAN(ワイヤレスネットワーク)ランプ

9 スピーカー

10 液晶画面/タッチパネル

11 ズーム(W/T)ボタン

12 POWER(パワー)ボタン/POWER(パワー)ランプ

13 WLAN(ワイヤレスネットワーク)ボタン

14 リストストラップ取り付け部

15 三脚用ネジ穴

- ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

16 バッテリー / "メモリースティック デュオ" カバー

17 マルチ接続端子

18 取りはずしつまみ

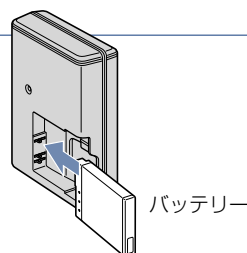
19 "メモリースティック デュオ" 挿入口

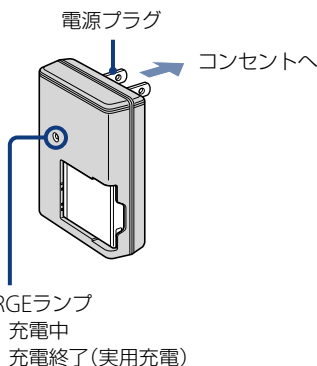
20 バッテリー挿入口

21 アクセスランプ

バッテリーを充電する

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付ける。

- 残量があるバッテリーも充電できる。

2 電源プラグを引き起こし、壁のコンセントに取り付ける。

CHARGEランプ消灯後、そのまま約1時間充電を続けると、若干長く使える（満充電）。

3 充電が終わったら、バッテリーとバッテリーチャージャーを取りはずす。

充電にかかる時間

満充電	実用充電
約220分	約160分

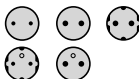
ご注意

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- バッテリーチャージャーを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。
- 必ずソニー製純正バッテリーをお使いください。

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	約100分	約200枚
静止画再生	約170分	約3400枚

測定方法はCIPA規格による。
（CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）

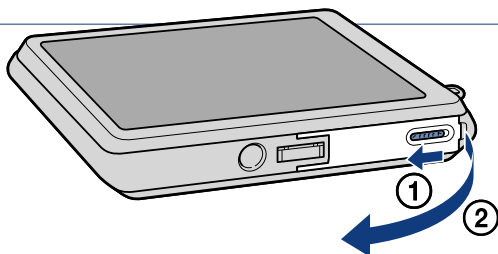
ご注意

• 使用時間/枚数はカメラの設定によって異なる場合があります。

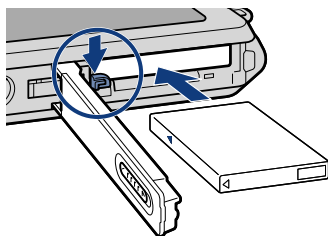
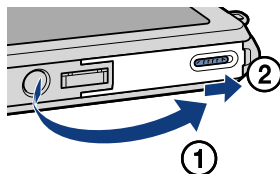
海外でも使えます

バッテリーチャージャー（付属）とACアダプター AC-LS5K（別売）は全世界で使用できます（AC100V ～ 240V、50/60Hz）。ただし、地域によっては壁のコンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプターが必要です。お出かけ前に、旅行代理店などで訪問先のコンセントの形状を確認し、必要に応じてご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用できません。故障の原因になります。

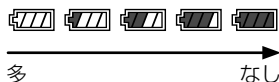
コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

バッテリーを入れる

1 カバーを開ける。

2 バッテリーを入れる。

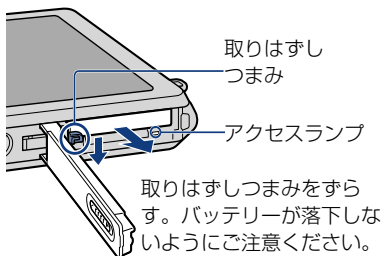
バッテリーの▲マークを取りはずしつまみに合わせ、バッテリーの端で取りはずしつまみを矢印の方向に押しながら入れる。

3 カバーを閉じる。

バッテリーの残量を確認する

液晶画面左上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

多　　なし

ご注意

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- NP-FD1バッテリー（別売）をお使いになると、残量表示の後に分表示も出ます。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリーを取り出す

取りはずしつまみをずらす。バッテリーが落下しないようにご注意ください。

ご注意

- アクセスランプ点灯中は、バッテリーまたは“メモリースティック デュオ”（別売）を取り出さないでください。データが壊れることがあります。

使用できる記録メディア

本機には約4GBの内蔵メモリーが搭載されており、“メモリースティック デュオ”（別売）がなくても多くの画像が記録できます。
“メモリースティック デュオ”を入れているときには、“メモリースティック デュオ”に画像が記録されます。

“メモリースティック デュオ”

“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”も使えます。
記録できる枚数/時間については、29ページをご覧ください。その他の“メモリースティック”や、メモリーカードは使えません。

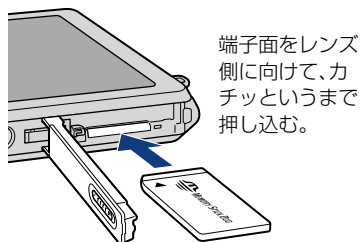
“メモリースティック”

本機では使用できません。

ご注意

- 本機内では、内蔵メモリーと“メモリースティック デュオ”間で、画像のコピーや移動はできません。

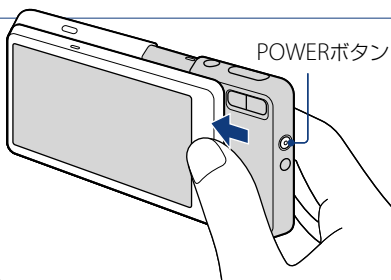
“メモリースティック デュオ”（別売）を入れる

カバーを開けて“メモリースティック デュオ”を入れる。

取り出すときは、“メモリースティック デュオ”を押して取り出します。

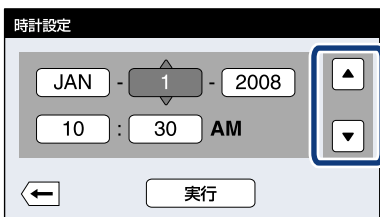
時計を合わせる

1 **レンズカバーをイラストの向きにずらす。液晶画面のフレームを親指で押して、いっぱいまで開く。**

電源が入る。

- POWERボタンを押しても電源が入る。

2 **希望の日付表示設定をタッチしてから、➡をタッチする。**

3 **設定する項目をタッチしてから、▲/▼をタッチして数値を設定する。**

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

4 **[実行]をタッチする。**

ご注意

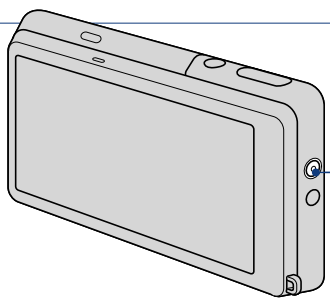
- 本機には画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM（付属）に収録されている「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。
- 電源を入れたまま約3分間操作しないと、自動で電源が切れます（オートパワーオフ機能）。
- 電源を入れたとき、操作ができるまでに時間がかかることがあります。

時計合わせをやり直す

HOMEをタッチして、（設定）から[時計設定]を選びます（47ページ）。

ワイヤレスネットワークを設定する

本機にはワイヤレスLAN機能が搭載されています。
アクセスポイントを経由して、本機をネットワークに接続します。

1 POWERボタンを押す。
電源が入る。

2 HOME →(コミュニケーション)→[ネットワーク]→ OK →[ネットワーク設定]→ OK をタッチする。

3 [タイムゾーン]→ OK →住んでいる地域をタッチする。

4 [アクセスポイント]→ OK →[新規作成]→[自動検索]→ →希望のアクセスポイントを選択→ をタッチする。

SSID情報確認画面が表示されます。

5 SSIDが表示されていることを確認→ をタッチする。
SSIDが表示されていないときは[SSID]→キーボードで入力→ OK をタッチする。

6 希望の暗号化方式を選択→ ⇥ をタッチする。[使用しない]を選んだときは、手順8に進む。

7 [暗号キー] →キーボードで暗号キーを入力→ ⇥ をタッチする。

8 [かんたん] → ⇥ →接続名を確認→ ⇥ →アクセスポイント設定一覧を確認→ ⇥ → [保存] → ⇥ → [実行]をタッチする。

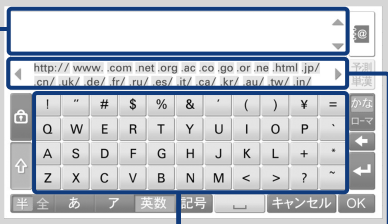
ご注意

- ネットワーク機器の接続・設定方法は機器によって異なります。
- 本機をネットワークに接続するには、以下が必要です。
  –インターネットサービスプロバイダーとの契約
  –ADSLモデムなどのネットワーク機器
  –アクセスポイントまたはワイヤレスルーター
  –アクセスポイントの設定情報(SSID)
- 設定内容が分からないときは、アクセスポイントを設定した方や管理者、またはプロバイダーにご確認ください。
- オートパワーオフ機能は働きません。
- ネットワーク接続時、操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的にネットワークの接続が切断される場合があります。その場合は再接続してください。

キーボードのつかいかた

手動で文字入力が必要なところをタッチすると、キーボードが表示されます。

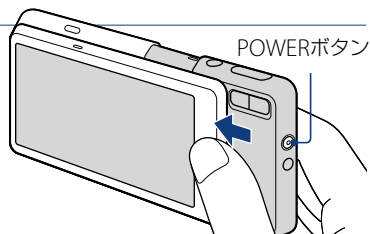
入力を終えたら、右下の OK をタッチします。

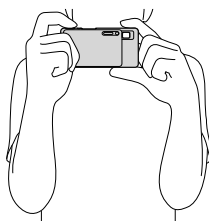
• 入力できる言語は本機の表示言語に対応しています。

ボタン	用途
@	アドレス帳
予測 単漢	単語または漢字のみで変換文字の候補を表示
←	文字カーソルの左の文字を削除
↵	改行キー
⇧	シフトキー
🔒	Caps Lock
␣	スペースキー
キャンセル	中止

ボタン	用途
OK	決定
かな ローマ	かな・ローマ字切り換え
あ/ぁ	小文字・大文字切り換え • ひらがな/カタカナを入力した後にタッチする
半 全	全角/半角切り換え
あ	全角ひらがな
ア	全角カタカナ
英数	全角英数字
記号	記号表示

撮る

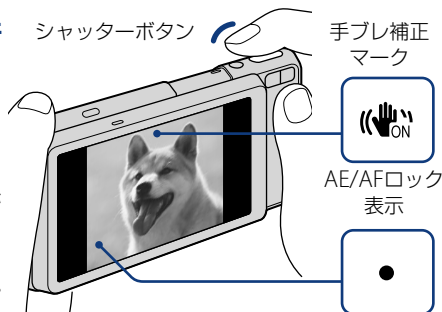
1 レンズカバーをイラストの向きにずらす。

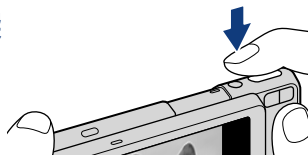
電源が入る。

2 脇を締めて構え、構図を決める。

- ズーム（W/T）ボタンのT側を押すとズームする。W側を押すと戻る。

ズーム（W/T）ボタン

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

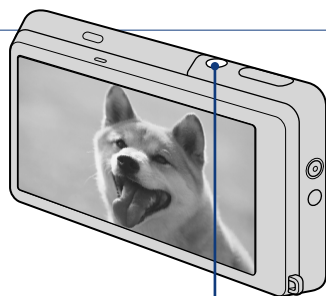
半押しすると手ブレ補正が効いて画面に(ON)が表示される。
ピントが合うと「ピピッ」という音がして●が点灯する。

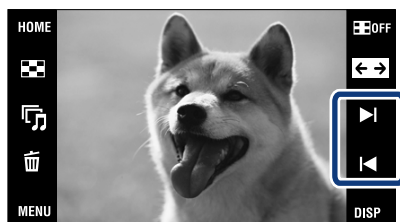
- ピントが合う最短距離はレンズ先端からW側約8cm、T側約50cm。

4 シャッターボタンを深く押し込む。

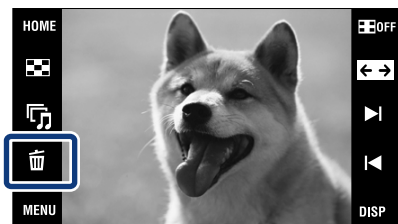
画像が撮影される。

見る

1 ▶(再生)ボタンを押す。

最後に撮った画像が表示される。

- 他機で撮影した"メモリースティック デュオ"の画像を再生できない場合は、フォルダビュー(33ページ)で再生する。

次の画像/前の画像を選ぶ

画面の▶❙(次)/❙◀(前)をタッチする。

削除する

🗑(削除)をタッチし、[実行]をタッチする。

撮影に戻る

シャッターボタンを半押しする。

電源を切る

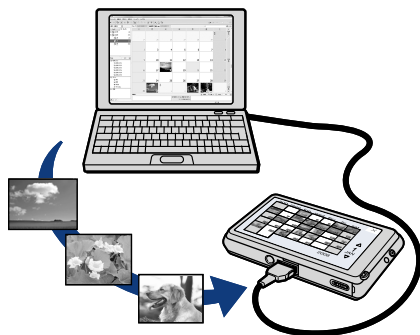
レンズカバーを閉じる。

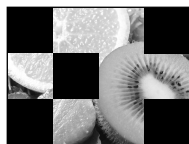
- POWERボタンを押しても電源が切れる。

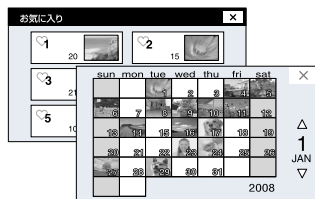
貯める

本機には約4GBの内蔵メモリーが搭載されており、多くの画像を貯められます。パソコンから画像を取り込んで、本機でいつでも楽しく見ることができます。

1 「PMB」を使って本機に画像を書き出す。

- パソコンの接続と「PMB」について詳しくは39ページをご覧ください。

貯めた画像を楽しく見る

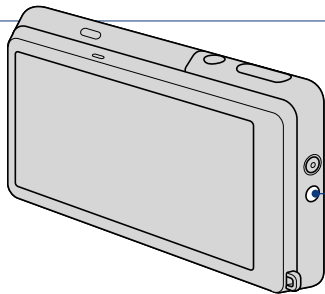
本機に画像を貯めておけば、スライドショーやスクラップブックを使って、いつでも楽しく画像を再生できます。また、たくさんの画像をお好みのビューモードで整理して、簡単に検索できます。

スライドショー（31ページ）

スクラップブック（32ページ）

ビューモード（33ページ）

ワイヤレスで画像をアップロードする

アクセスポイント経由でワイヤレスでウェブサイトにアクセスし、撮った画像をアップロードできます。
ご使用の前にネットワークの設定が必要です。（14ページ）

1 電源を入れた状態でWLAN（ワイヤレスネットワーク）ボタンを押す。

Webブラウザが起動する。
初期設定ではソニーのポータルサイトが表示される。

WLAN（ワイヤレスネットワーク）ボタン

2 ネットワークサービスにログインする。

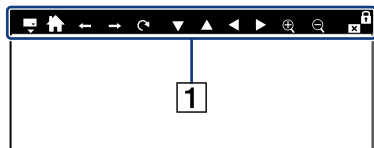
3 画面の指示に従って、画像をアップロードする。

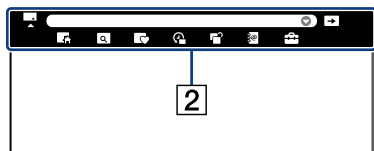
ご注意

- ネットワークサービスによっては正しく動作できない場合があります。
- 事前に各ネットワークサービスのウェブサイトでアカウントを作成しておく必要があります。
- 一度にアップロードできる枚数はネットワークサービスによって異なります。
- 静止画の画像サイズによっては、アップロードできない場合があります。また、アップロードできる動画サイズは100MB以下です。
- ネットワーク接続中に、"メモリースティック　デュオ"の抜き差しを行うと、動作が遅くなる場合があります。
- ネットワーク接続中は充分に充電したバッテリーをご利用ください。

Webブラウザを終了する

WLAN（ワイヤレスネットワーク）ボタンを押すか、✕ → ［実行］をタッチする。

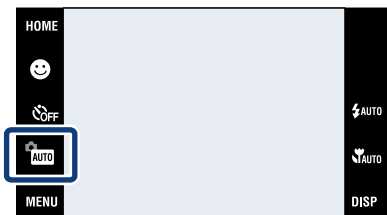
Webブラウザの操作ボタン

1

表示	意味
	画面表示切替
	ソニーポータルサイトを表示
←/→	前の画面/次の画面
/✕	更新/読み込み中止
▲/▼/◀/▶	画面表示移動
	拡大/縮小
✕	ブラウザを終了

2

表示	意味
	画面表示切替
	URL表示 • URL入力のタブをタッチするとURLを手動で入力できる。 • をタッチすると、履歴を表示できる。

表示	意味
	移動 • URLを手動で入力した後にタッチすると入力したウェブサイトを表示する。
	ホームを表示 • ブラウザ起動時に表示されるホームページ。
	ブラウザ内文字検索 • 文字を入力して検索する。
	ブックマーク一覧
	履歴の表示
	タブ切り替え
	アドレス帳の登録と表示
	Webブラウザ設定 表示モード 文字サイズ 文字コード 表示詳細 ホームページ プロキシ Cookie キャッシュ Webブラウザ情報 セキュリティ

好みに合わせて撮影モードを変える

1 AUTO（撮影モード）→ 好みのモード → OKをタッチする。

	撮影モード	機能
AUTO	オート撮影	カメラまかせで自動撮影する。
PGM	プログラムオート撮影	露出と絞りは本機が自動設定する。それ以外の設定はメニューで設定する。
EASY	かんたん撮影	見やすい表示で簡単に撮影する。
ISO	高感度	暗いところでもフラッシュを使わずブレを軽減しながら撮影できる。
	動画撮影	動画を撮影する。
	風景	遠景にピントを合わせ、遠くの風景を撮影しやすくし、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。
	ソフトスナップ	人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影できる。
	夜景＆人物	夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使う。夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影できる。
	夜景	暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できる。
SCN	シーンセレクション	その他のシーンセレクションを選ぶ。

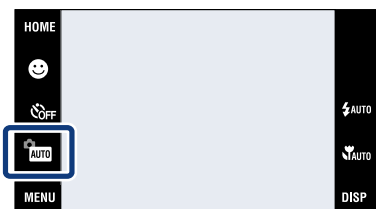
SCN内のシーンセレクション

	料理	マクロモードになり、料理を明るく、美味しそうに撮影できる。
	ビーチ	海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに記録する。
	スノー	雪景色などの画面全体が白くなるようなシーンで雰囲気を損なわずに撮影できる。
	打ち上げ花火	打ち上げ花火をきれいに撮影できる。
	高速シャッター	屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影するときに使う。

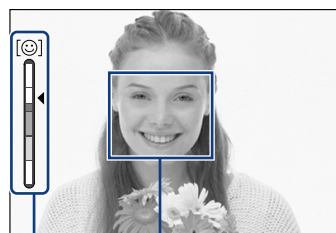
ご注意

• モードによっては、フラッシュ発光できなくなります。

笑顔を逃がさず撮る（スマイルシャッター）

1 AUTO（撮影モード）→ AUTO（オート撮影）→ ✕ または OK → ☻（スマイルマーク）をタッチする。

2 笑顔を待つ。

スマイルレベルがインジケーターの◀を超えると、自動で撮影される。もう一度☻（スマイルマーク）をタッチすると、スマイルシャッターが終了する。

- スマイルシャッター中にシャッターボタンを押すと、オート撮影される。撮影後はスマイルシャッターに戻る。

顔検出枠

スマイル検出感度インジケーター

検出されやすい笑顔のポイント

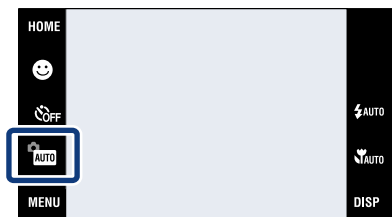
① 前髪が目にかからないようにする。

② カメラに対して正面を向き、なるべく水平になるようにする。目は細めにする。

③ 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなる。

状況を自動判別して撮る(おまかせシーン認識)

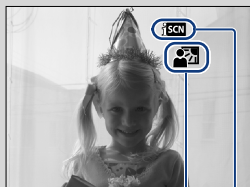
本機が自動的に撮影状況を認識して撮影します。

1 **(撮影モード) → (オート撮影) → または OK をタッチする。**

2 **MENU → (おまかせシーン認識) → 好みのモード → OK をタッチする。**

(切):シーン認識機能を使わない。

(オート):シーン認識すると、最適な設定に切り替わり、撮影する。

(アドバンス):シーン認識すると、最適な設定に切り替わり、撮影する。
(夜景)、(夜景&人物)、(三脚夜景)、(逆光)、(逆光&人物)を認識すると、もう1枚撮影される。(人物)が認識されると目つぶり軽減機能が働く。

• (マクロ入)、(拡大鏡入)、連写時はおまかせシーン認識は働きません。

シーン認識すると

シーン認識マーク

設定値マーク

シーンを認識すると、(夜景)、(夜景&人物)、(三脚夜景)、(逆光)、(逆光&人物)、(風景)、(マクロ)、(人物)が表示されます。
シーン認識しない場合は、[切]の時と同じ画像が撮影されます。

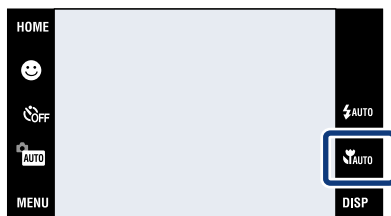
近くのものをきれいに撮る（マクロ/拡大鏡）

虫や花など、小さいものを近くできれいに撮りたいときに使います。

1 **（マクロ）→ 好みのモード → OKをタッチする。**

（オート）：遠景から近接まで自動でピントを合わせる。
通常はこのモードにする。

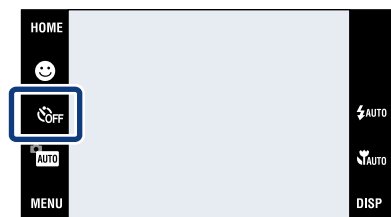
（マクロ入）：近接する被写体を優先してピントを合わせる。
近くのものを撮る場合に使用する。

（拡大鏡入）：マクロ撮影よりもさらに近距離で撮影したい場合に使用する。W側固定で約1 ～ 20cmの間でピントを合わせる。

セルフタイマーを使う

1 **（セルフタイマー）→ 好みのモード → OKをタッチする。**

（切）：セルフタイマーを使わない。

（セルフタイマー 10秒）：10秒後に撮影。自分も一緒に写りたいときに使う。解除するにはもう一度をタッチする。

（セルフタイマー 2秒）：2秒後に撮影。シャッターボタンを押した時のブレが軽減できるため、手ブレが起こりにくくなる。

2 **シャッターボタンを押す。**

セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。

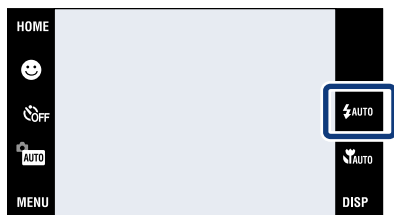
フラッシュモードを選ぶ

1 AUTO（フラッシュ）→ 好みのモード → OKをタッチする。

AUTO（オート）：光量不足または逆光と判別したとき発光。

（強制発光）：必ず発光する。

SL（スローシンクロ）：必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

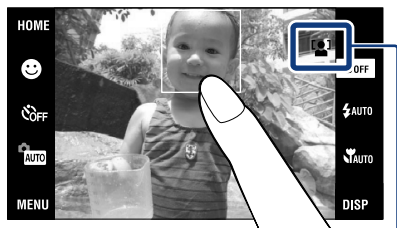
（発光禁止）：発光しない。

ご注意

- おまかせシーン認識が[オート]または[アドバンス]のとき、（強制発光）、SL（スローシンクロ）は使えません。
- 連写時はフラッシュ撮影できません。

好きなところにピントを合わせる

ピントを合わせたいところをタッチするだけで、ピント位置を変更できます。

1 被写体に本機を向け、ピントを合わせたいところをタッチする。

- 半押ししてピントを合わせる前なら、何度でもやり直しできる。
- カメラまかせのピント合わせにしたいときは、OFFをタッチする。

：顔検出している
：顔検出していない

顔にピントを合わせて撮る（顔検出）

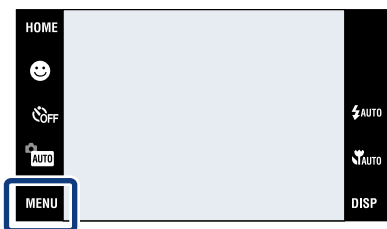
カメラが人物の顔を判別して、顔にピントを合わせます。ピント合わせの優先対象を設定できます。

1 MENU → AUTO（顔検出）→ 好みのモード → OKをタッチする。

（タッチ時）：画面の顔部分にタッチしたとき顔検出をする。

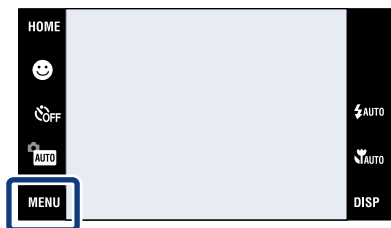
AUTO（オート）：カメラまかせでピント合わせする顔を選ぶ。

（こども優先）：子どもの顔を優先してピント合わせする。

（おとな優先）：大人の顔を優先してピント合わせする。

撮影に便利な機能を使う

用途に合わせて画像のサイズを選ぶ

画像サイズは写真を記録するときの大きさのことです。

1 **MENU → 10M（画像サイズ）→ 好みのサイズ → OKをタッチする。**

静止画画像サイズ	用途例	本機の液晶表示
10M （3648 × 2736）	A3ノビサイズまでの印刷	縦横比4:3または3:2で表示。
5M （2592 × 1944）	A4サイズまでの印刷	
3M （2048 × 1536）	L/2L判までの印刷	
VGA （640 × 480）	Eメールに添付	
3:2（8M） （3648 × 2432）	写真の印画紙、ポストカード同様に3:2の縦横比で撮影	
16:9（7M） （3648 × 2056）	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞。	画面いっぱいに表示。
16:9（2M） （1920 × 1080）		

動画画像サイズ	フレーム数/秒	用途例
640（ファイン） （640 × 480）	約30枚	テレビの再生（高画質）
640（スタンダード） （640 × 480）	約17枚	テレビの再生（標準画質）
320（320 × 240）	約8枚	Eメールに添付

• 16:9で撮影した画像は、プリント時に両端が切れることがあります。

記録可能枚数と記録可能時間

以下の表は、[撮影モード]が[通常撮影]のときの枚数です。

（単位：枚）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットした“メモリースティック デュオ”						
	約4GB	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB
10M	988	56	118	242	493	972	1963	3991
5M	1566	89	188	384	781	1541	3111	6324
3M	2512	144	301	617	1253	2472	4991	10140
VGA	24120	1385	2898	5925	12030	23730	47910	97390
3:2（8M）	996	57	119	244	497	980	1980	4024
16:9（7M）	1048	60	126	257	523	1031	2083	4234
16:9（2M）	4020	230	483	987	2005	3955	7986	16230

以下の表は、動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。連続撮影可能時間は約10分です。

（単位：時：分：秒）

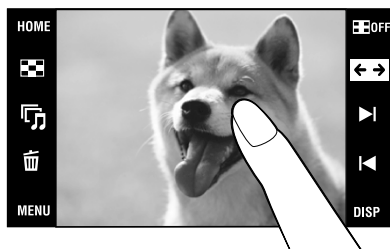
容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットした“メモリースティック デュオ”						
	約4GB	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB
640（ファイン）	0:50:10	0:02:50	0:06:00	0:12:20	0:25:00	0:49:20	1:39:40	3:22:50
640（スタンダード）	3:00:50	0:10:20	0:21:40	0:44:20	1:30:10	2:58:00	5:59:20	12:10:20
320	12:03:30	0:41:30	1:25:20	2:57:40	6:01:00	11:52:00	23:57:30	48:41:50

ご注意

• 記録枚数/時間は撮影状況および使用する記録メディアによって異なる場合があります。
• 静止画の記録可能枚数が9999枚より多いときは、「>9999」と表示されます。
• “メモリースティック デュオ”使用時、[640(ファイン)]は“メモリースティック PRO デュオ”のみに記録できます。
• 動画はHD対応していません。
• 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。
• 内蔵メモリーに多くの画像を記録すると、動作が遅くなる場合があります。

拡大して見る（再生ズーム）

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、拡大したい部分をタッチする。

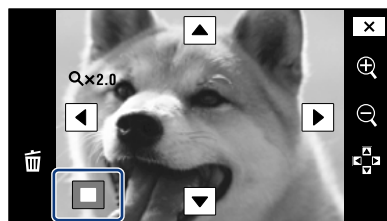
タッチした部分を中心に、2倍に拡大される。DISP（画面表示）が[画像のみ]のときは、画面の中央をタッチしてから、拡大したい部分をタッチする。

2 倍率や拡大位置を調整する。

画像をタッチするたびに、さらに拡大表示される。

▲/▼/◀/▶：ズーム位置変更

⊕⊖：倍率変更

✥：▲/▼/◀/▶を表示/非表示

✕：ズーム中止

全体の中で現在表示されている部分

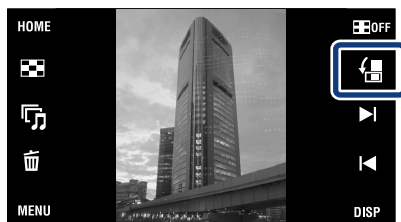
画面いっぱいに画像を表示する（ワイドズーム）

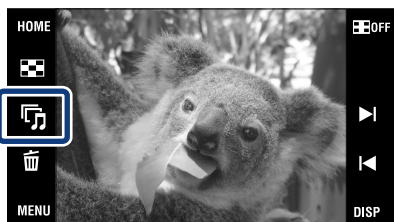
1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、←→（ワイドズーム）をタッチする。

- 終了するには、再び←→をタッチする。

縦に表示された画像を一時的に横に回転する（一時回転表示）

1 ▶（再生）ボタンを押して縦に表示された画像を再生し、（一時回転表示）をタッチする。

- 終了するには、再び をタッチする。

音楽といっしょに再生する（スライドショー）

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、（スライドショー）をタッチする。

2 ［実行］をタッチする。

スライドショーが始まる。

- スライドショーを終了するには、画面をタッチして、［終了］をタッチする。

好きな曲をBGMにする♪

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲（BGMファイル）を本機に転送し、スライドショーとともに再生できます。BGMファイルを転送するには、付属のソフトウェア「Music Transfer」をパソコンにインストールして（40ページ）、下記手順をおこないます。

① HOME → （画像再生2） → ［BGMツール］ → ［BGMダウンロード］をタッチする。
② 本機とパソコンをUSB接続する。
③「Music Transfer」を起動して操作する。
詳しくは「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

再生に便利な機能を使う

スクラップブックで見る

画像に自動的に背景をつけて、アルバムのように演出して表示します。

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、MENU → (スクラップブック) → OKをタッチする。

2 ▶I/I◀ボタンでページをめくる。

：記録メディアに保存
：背景選択
：自動再生開始
自動再生を中止するには画面をタッチする。
✕：終了
⏮：表紙画面に戻る

ご注意

- ビューモードが[フォルダビュー]のときは表示されません。

保存の方法を選ぶ

[現在のページを保存]：見ている画像を保存する。
[ページを選択して保存]：▶I/I◀ で画像を選び、保存したい画像をタッチする。
[スクラップブック内全てを保存]：スクラップブック内の全ての画像を保存する。

保存される画像サイズは3Mになります。

素早く探す（一覧表示）

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、（一覧表示）をタッチする。

- DISP をタッチすると、12枚か20枚で表示枚数を設定できる。

2 ⊼/⊻ボタンでページをめくる。

- 一覧表示画面で画像をタッチすると、1枚再生に戻る。

画像を表示する方法を選ぶ（ビューモード）

画像を表示する方法を選び、一覧表示します。

1 ▶（再生）ボタンを押して、画像を再生し、（一覧表示）→（ビューモード）→ 好みのモードをタッチする。

（日付ビュー）：日付ごとに分けて表示する。

（イベントビュー）：撮影日時や頻度などを分析し、自動でグループ分けして表示する。

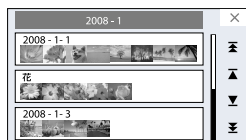
♡（お気に入り）：お気に入り登録した画像を表示する。

（フォルダビュー）：フォルダごとに表示する。

再生に便利な機能を使う

表示したい画像を簡単に探す

日付ビュー / イベントビュー / フォルダビューのとき：
（日付リスト）、（イベントリスト）、（再生フォルダ選択）をタッチすると、簡単に画像が探せます。

日付リスト：希望の日にちを選択すると、一覧表示する。

イベントリスト：希望のイベントを選択すると、一覧表示する。

再生フォルダ選択：希望のフォルダを選択して[実行]を選択すると、一覧表示する。

お気に入りのとき：お気に入り登録した画像を6グループに分けて表示できます。

お気に入り：希望のお気に入り番号を選択すると、一覧表示する。

ご注意

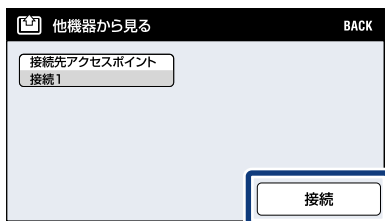
• 他機で撮影した画像を再生できない場合は、フォルダビューで再生してください。

ブラビアから画像を見る

ホームネットワークを介して、DLNA対応の"ブラビア"で操作して本機の画像を見られるように設定します。

1 HOME → (コミュニケーション) → [ネットワーク] → OK → (他機器から見る) → OKの順にタッチする。

2 [接続]をタッチする。

接続先が複数ある場合は[接続先アクセスポイント]をタッチして接続先を選ぶ。

3 ネットワーク上で公開したい画像を選ぶ。

4 公開する方法を選ぶ。

ご注意

- 公開できる画像は静止画のみです。
- 一度に選択できる画像は最大100枚です。
- DLNA対応機器で本機の画像を見るには、再生機器側の設定と操作が必要です。詳しくは再生機器の取扱説明書をご覧ください。
- ネットワーク接続中は充分に充電したバッテリーをご利用ください。

公開する画像を1枚ずつ解除する

画像公開中に画像をタッチして、チェックマークをはずす。

公開する画像を全て解除する

画像公開中にMENU → ALL OFF（解除） → OK → ［実行］の順にタッチする。

画像公開を終了する

WLAN（ワイヤレスネットワーク）ボタンを押す。または、MENU → ✕（終了） → OK → ［実行］の順にタッチする。

ブラビアへ画像を送る

ホームネットワークを介して、本機を操作してレンダラー機能に対応した“ブラビア”へ画像を送ります。

1 **HOME → （コミュニケーション） → ［ネットワーク］ → OK → （他機器へ送る） → OKの順にタッチする。**

2 **［機器検索］をタッチする。**

本機が接続する機器を検索する。検出された機器が液晶画面に表示される。
前回と同じ機器に接続するときは［前回接続機器］をタッチする → 手順4へ進む

3 **送信する機器をタッチし、［接続］をタッチする。**

：最後に接続した機器

4 **送信したい画像を選ぶ。**

5 **送信する画像をタッチする。**

画像送信を終了する

WLAN（ワイヤレスネットワーク）ボタンを押す。または、MENU → ✕（終了）→ OK → [実行]の順にタッチする。

ご注意

- レンダラー機能に対応した機器のみで再生できます。レンダラーの設定に関して詳しくは、"ブラビア"の取扱説明書をご覧ください。
- ネットワーク接続中は充分に充電したバッテリーをご利用ください。

ブラビアに画像を一度にまとめて送る

画像をまとめて送りたいときはスライドショーで送信すると便利です。

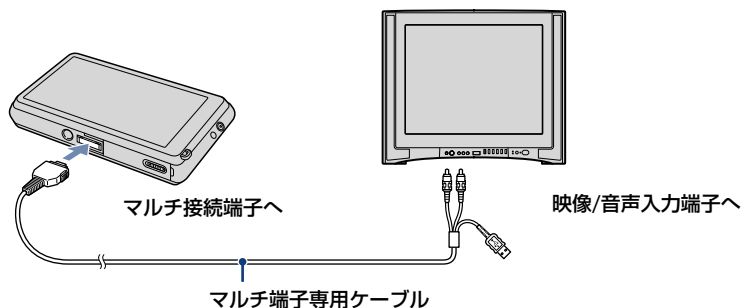
① 接続中の一覧表示画面で（スライドショー）をタッチする。

② スライドショーを開始したい画像をタッチする。

スライドショーの設定を変えたいときは

1 一覧表示画面で（スライドショー）→ OK → 希望の項目→好みの設定→ OK をタッチする。
2 [実行]をタッチする。
下記の項目の設定ができます。
–再生間隔（速い/標準/遅い）
–リピート（入/切）

テレビで見る

1 本機とテレビをマルチ端子専用ケーブル（付属）でつなぐ。

ご注意

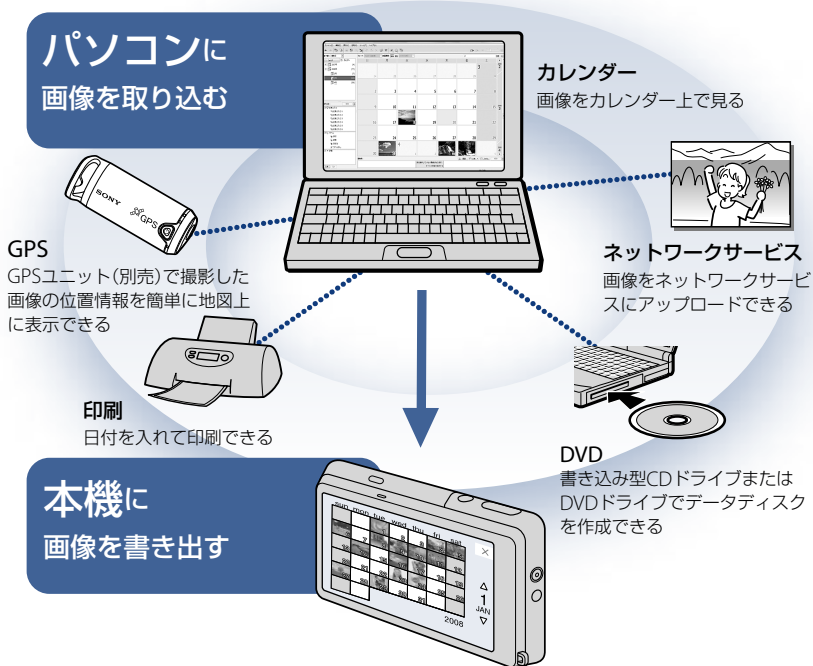
- ネットワーク接続中はテレビに出力できません。

ハイビジョンテレビに接続して画像を楽しむときは

- HD出力アダプターケーブル（別売）や、サイバーショットステーション（別売）で接続すると、本機で撮影した画像を高画質でお楽しみいただけます。
- あらかじめ、ホーム画面で（設定）を選び、[本体設定2]の[コンポーネント出力]を[HD(D3)]に設定してください。
- HD出力時は、動画は再生できません。動画を再生するときは、[コンポーネント出力]を[SD]にしてください。

パソコンで使う

「PMB（Picture Motion Browser）」で楽しむ

サイバーショットで撮影した画像をよりいっそうご活用いただくために、CD-ROM（付属）には「PMB（Picture Motion Browser）」が収録されています。
下記の他にも、撮影した画像を楽しむ機能があります。詳しくは、「PMBガイド」をご覧ください。

PMB Portableで楽しむ

本機にはアプリケーション「PMB Portable」が内蔵されています。「PMB」がインストールされていないパソコンからも、画像を簡単にネットワークサービスへアップロードできます。詳しくは、「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

ご注意

- 「PMB」、「PMB Portable」は、Macintoshには対応していません。

「PMB」(付属)をインストールする

下記の手順で、ソフトウェア(付属)をインストールします。「PMB」と同時に「Music Transfer」もインストールされます。

• コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

1 パソコンの環境を確認する。

「PMB」、「Music Transfer」使用時の推奨環境

OS(工場出荷時にインストールされていること): Microsoft Windows 2000 Professional SP4/Windows XP* SP3/Windows Vista SP1*

CPU: Intel Pentium III 500 MHz以上(Intel Pentium III 800 MHz以上を推奨)

メモリ: 256 MB以上(512 MB以上を推奨)

ハードディスク: インストール時に必要な容量:約400 MB

ディスプレイ: 1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。

2 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

3 [インストール]をクリックする。

「言語の選択」画面が表示される。

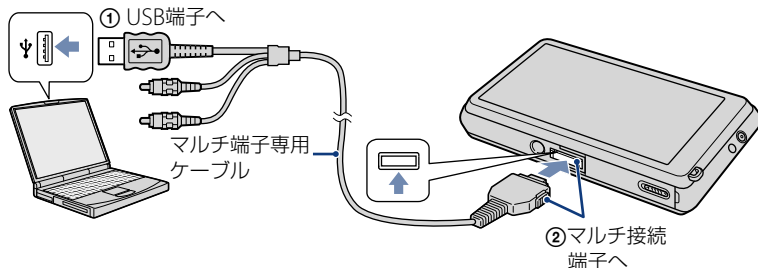
4 画面の指示に従ってインストールを進める。

5 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。

「PMB」で画像をパソコンに取り込む

1 充分に充電したバッテリーを本機に入れ、▶（再生）ボタンを押す。

2 本機とパソコンを接続する。

本機の画面に「接続中」と表示される。

- 通信中は本機の画面に USB が表示されます。
  その間はパソコンの操作をしないでください。 USB が表示されたら操作できます。

3 [取り込み開始]をクリックする。

その他詳しくは、「PMBガイド」をご覧ください。

ご注意

- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマルチ端子専用ケーブルをはずしたりしないでください。データが壊れることがあります。
- 残量の少ないバッテリーを使用すると、データを転送できなかったり、データが壊れることがあります。ACアダプター（別売）とマルチ端子専用USB・A/V・DC INケーブル（別売）のご使用をおすすめします。

「PMB」で画像を本機に書き出す

内蔵メモリーに書き出していない画像を、自動で選択して書き出します。

1 本機とパソコンを接続する。

自動再生ウィザードが起動したら終了する。

2 デスクトップ上の (PMB)をダブルクリックする。

3 画面上部の をクリックする。

かんたん書き出し画面が表示されます。
その他詳しくは、「PMBガイド」をご覧ください。

「PMBガイド」を見る

1 デスクトップ上の (PMBガイド)をダブルクリックする。

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Sony Picture Utility] → [ヘルプ] → [PMBガイド]の順にクリックする。

「PMB Portable」を使う

1 本機とパソコンをUSB接続する。

本機とパソコンの接続が終わると、自動再生ウィザード[PMBPORTABLE]が表示される。

- 自動再生ウィザード画面が表示されないときは、[コンピュータ](Windows XP/2000では[マイ コンピュータ]) → [PMBPORTABLE]をクリックして、「PMB_P.exe」をダブルクリックする。

2 自動再生ウィザード内の「PMB Portable」を選ぶ。

使用許諾画面が表示される。

3 画面の指示に従って設定をおこなう。

「PMB Portable」が起動する。
その他詳しくは「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

ご注意

- 「PMB Portable」使用時は、必ずネットワーク接続してください。

「Macintosh」で使う

Macintoshに画像を取り込むことができます。ただし「PMB」は対応していません。「Music Transfer」はインストールできます。画像を本機に書き出した場合は、フォルダビューでご覧ください。

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

画像を取り込む時の推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X（v10.1 ～ v10.5）

USB端子：標準装備

「Music Transfer」使用時の推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：Mac OS X（v10.3 ～ v10.5）

メモリ：64 MB以上（128 MB以上を推奨）

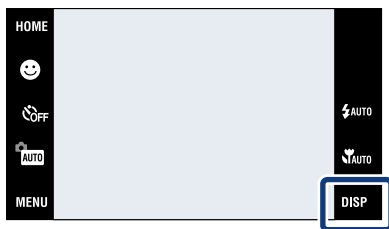
ハードディスク：インストール時に必要な容量：約250 MB

画面の表示を変える

1 DISP → 好みのモード → OK をタッチする。

(ノーマル)：ボタンとアイコンを表示

(シンプル)：ボタンだけ表示

(画像のみ)：ボタンとアイコンを消す

ご注意

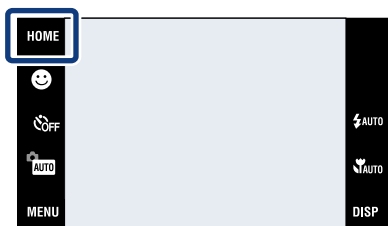
- 再生時に[画像のみ]にすると DISP も消えます。ボタンを表示させるときは、画面中央をタッチしてください。一時的に[ノーマル]の表示になります。

ヒストグラム、明るさの設定について

DISP をタッチすると下記の設定もできます。
ヒストグラム：画面の明るさを示すグラフです。右寄りなら明るめ、左寄りなら暗めの画像です。
明るさ：液晶画面の明るさ（標準/明）を設定します。[明]にすると明るい屋外でも見やすくなりますが、バッテリーの消費は早くなります。

内蔵メモリーにパスワードロックをかける

内蔵メモリーにある画像を再生できないようにするため、パスワードを設定します。

1 **HOME → (設定) → [本体設定] → OK → [パスワードロック] → OKをタッチする。**

2 **4桁の任意の数字を入力 → [実行]をタッチする。**

3 **もう一度同じ数字を入力 → [実行] → [実行]をタッチする。**

4 **電源を切る。**

電源を切ったあと、再生するとパスワードロックが有効になる。

パスワードを入力して再生する

パスワード入力画面が表示される → 設定したパスワード番号を入力 → [実行]をタッチする。

パスワードロックの設定を解除する

HOME → (設定) → [本体設定] → OK → [パスワードロック] → OK → 設定したパスワード番号を入力 → [実行] → [実行]をタッチする。

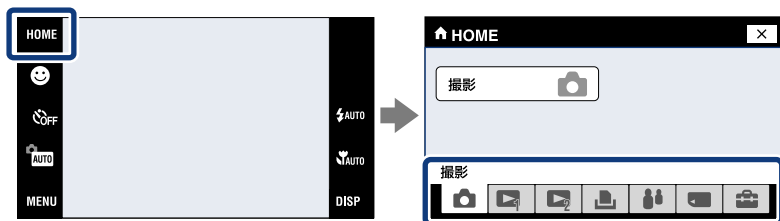
ご注意

- "メモリースティック デュオ"内の画像にはパスワードを設定できません。

パスワードを忘れてしまったときは

① レンズカバーをずらす。
② POWERボタンを押し電源を切る。
③ ズームボタンのW側を押したまま、再生ボタンを押す。
④ 電源が入りパスワード解除画面が表示される → [実行]をタッチする。
⑤ パスワード解除番号（62ページ）を入力する → [実行] → [実行]をタッチする。

HOMEにある機能を使う

ホーム画面とは、撮影・再生・印刷など、カメラでできることをお客様の使いたい目的に応じて大きく分類し、選択できるようにした画面です。本機の画面には、設定できる項目のみが表示されます。

撮影

項目	説明
撮影	静止画や動画を撮影する。

画像再生1

項目	説明
日付ビュー	画像を日付ごとに分けて表示する。
イベントビュー	撮影日時や頻度を分析し、自動でグループ分けして表示する。
お気に入り	お気に入り登録した画像を表示する。
フォルダビュー	フォルダごとに表示する。

画像再生2

項目	説明
スライドショー	効果や音楽とともに、画像を連続再生する。
BGMツール	BGMダウンロード：スライドショー用の音楽を変更する。 BGMフォーマット：スライドショー用の音楽を全て消去する。
スクラップブック	背景をつけ、アルバムのように画像を演出して表示する。

印刷

項目	説明
印刷	静止画を印刷する。

コミュニケーション

項目	説明
ネットワーク	画像アップロード/閲覧：Webブラウザを表示する。 他機器から見る：DLNA対応機器で操作して本機の画像を閲覧する。 他機器へ送る：本機からDLNA対応機器へ画像を送って閲覧する。 ネットワーク設定：ネットワークに接続するための情報を設定する。（アクセスポイント/ニックネーム/ネットワーク省電力/タイムゾーン/設定リセット）

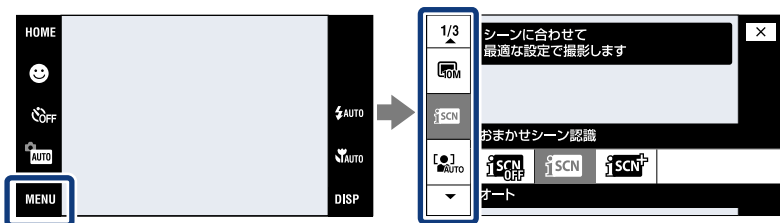
メモリー管理

項目	説明
メモリーツール	フォーマット：記録メディアをフォーマット（初期化）する。 記録フォルダ作成：記録メディアの中に新しいフォルダを作成する。 記録フォルダ変更：画像を記録するフォルダを変更する。

設定

項目	説明
本体設定 - 本体設定1	操作音：本機の操作時に鳴るブザーを設定する。 機能ガイド：機能の説明文を表示する。 設定リセット：お買い上げ時の設定に戻す。 キャリブレーション：ボタンの反応位置のずれを調整する。 デモモード：スマイルシャッターやおまかせシーン認識のデモンストレーションをする。
本体設定 - 本体設定2	USB接続：接続するパソコンやプリンターに合わせて設定する。 LUN設定：USB接続したときに、パソコンなどに表示される記録メディアを設定する。 コンポーネント出力：接続するテレビ端子に合わせて設定する。 ビデオ信号出力：接続するビデオ出力方式に合わせて設定する。 TVタイプ：接続するテレビ画面の縦横比にに合わせて設定する。 パスワードロック：内蔵メモリーの画像にパスワードを設定する。
撮影設定 - 撮影設定1	AFイルミネーター：暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。 グリッドライン：構図を合わせるための線を表示する。 AFモード：自動ピント合わせの種類を選ぶ。 デジタルズーム：光学ズーム以上のズームの方法を設定する。
撮影設定 - 撮影設定2	縦横判別：画像の縦横を判別して記録する。 オートレビュー：静止画撮影後、画像を約2秒間表示する。
時計設定	時計、日付の設定を変更する。
表示言語	本機で表示する言語を設定する。

MENUにある機能を使う

撮影中・再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。
本機の画面には、設定できる項目のみが表示されます。

撮影時のMENU

項目	説明
画像サイズ	画像サイズを設定する。 （10M/5M/3M/VGA/3:2（8M）/16:9（7M）/16:9（2M）/640（ファイン）/640（スタンダード）/320）
おまかせシーン認識	カメラがシーンを判断して撮影する。 （切/オート/アドバンス）
顔検出	人物の顔を検出し、ピントを合わせる優先対象を設定する。 （タッチ時/オート/こども優先/おとな優先）
スマイル検出感度	笑顔を検出する感度を設定する。 （低/中/高）
撮影モード	連写を設定する。 （通常撮影/連写/BRK±0.3EV、BRK±0.7EV、BRK±1.0EV）
明るさ（EV補正）	露出を手動調整する。 （−2.0EV ～ +2.0EV）
測光モード	画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定する。 （マルチ/中央重点）
フォーカス	ピント合わせの方法を変更する。 （マルチAF/∞無限遠）
色合い（ホワイトバランス）	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 （オート/太陽光/曇天/蛍光灯1、蛍光灯2、蛍光灯3/電球/フラッシュ）
フラッシュレベル	フラッシュの発光量を調整する。 （−/標準/+）
目つぶり軽減	目つぶり軽減機能を設定する。 （オート/切）
赤目軽減	赤目軽減機能を設定する。 （オート/入/切）

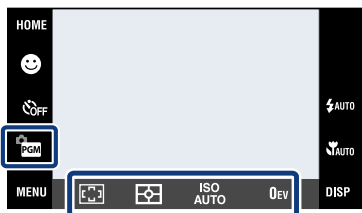
項目	説明
DRO	明るさとコントラストを最適化する。 （切/スタンダード/プラス）
カラーモード	画像の鮮やかさを変えたり、特殊効果を加えて撮影する。 （標準/ビビッド/セピア/モノトーン）
手ブレ補正	手ブレ補正の種類を設定する。 （撮影時/常時/切）
撮影設定	撮影機能を設定する。

再生時のMENU

項目	説明
（日付リスト）	再生する日付リストを選択する。
（イベントリスト）	再生するイベントリストを選択する。
（再生フォルダ選択）	再生したい画像の入っているフォルダを選択する。
（ビューモード）	ビューモードの切り換えを行う。 （日付ビュー／イベントビュー／お気に入り/フォルダビュー）
（画像絞込み）	条件に合う画像を絞り込んで再生する。 （OFF切/人物の顔/こどもの顔/赤ちゃんの顔/笑顔）
（スライドショー）	効果や音楽とともに、画像を連続再生する。
（スクラップブック）	背景をつけ、アルバムのように画像を演出して表示する。
（お気に入り登録／解除）	画像をお気に入りに登録/解除する。 （この画像/画像選択/日付内全て登録*/日付内全て解除*） * 各ビューモードによって、表示される文言が異なります。
（シェアマーク登録／解除）	ネットワークサービスへアップロードする画像を登録/解除する。 （この画像/画像選択/日付内全て登録*/日付内全て解除*） * 各ビューモードによって、表示される文言が異なります。
（加工）	画像に特殊な加工をする。 （トリミング/赤目補正/ピントくっきり補正/ソフトフォーカス/パートカラー／魚眼/クロスフィルター／放射/レトロ/スマイル）
（ペイント）	静止画へ描き込みをして別ファイルとして保存する。
（マルチリサイズ）	用途に合わせて画像サイズを変更する。 （ハイビジョン対応テレビ/ブログ/Eメール）
（削除）	画像を削除する。 （この画像/画像選択/日付内全て*） * 各ビューモードによって、表示される文言が異なります。

項目	説明
(プロテクト)	画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。 (この画像/画像選択/日付内全て設定*/日付内全て解除*) * 各ビューモードによって、表示される文言が異なります。
DPOF	"メモリースティック デュオ"の画像にプリント予約マークを付ける。 (この画像/画像選択/日付内全て設定*/日付内全て解除*) * 各ビューモードによって、表示される文言が異なります。
(印刷)	PictBridge対応プリンターを接続して印刷する。 (この画像/画像選択/日付内全て*) * 各ビューモードによって、表示される文言が異なります。
(回転)	静止画を左右に回転する。
(音量設定)	音量を調節する。

プログラムオートにある撮影機能を使う

撮影モードがPGM(プログラムオート撮影)に設定されているときは、フォーカス/測光モード/ISO/明るさ(EV補正)の設定が変更できます。

項目	説明
(フォーカス)	ピント合わせの設定方法を変える。 (マルチAF/中央重点AF/スポットAF/1.0m/3.0m/7.0m/∞無限遠)
(測光モード)	測光部分の設定をする。 (マルチ/中央重点/スポット)
ISO AUTO (ISO)	ISO感度を設定する。 (ISO AUTO/ISO80 ~ ISO3200)
0EV (明るさ(EV補正))	露出を補正する。 (–2.0EV ~ +2.0EV)

「サイバーショットハンドブック」を読む

「サイバーショットハンドブック」は、CD-ROM（付属）に収録されています。さらに詳しい説明を知りたいときに、ご覧ください。

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 「サイバーショットハンドブック」をクリックする。

本機をよりよく使うためにアクセサリーの紹介をしている「サイバーショットステップアップガイド」も同時にインストールされる。

3 デスクトップ上のショートカットから起動する。

Macintoshをお使いの場合

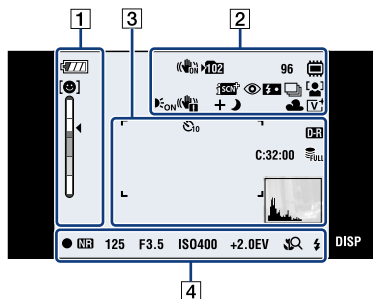
1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

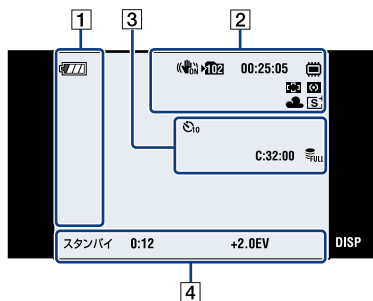
2 [Handbook] - [JP]の順に選び、[JP]フォルダ内の“Handbook.pdf”をパソコンにコピーする。

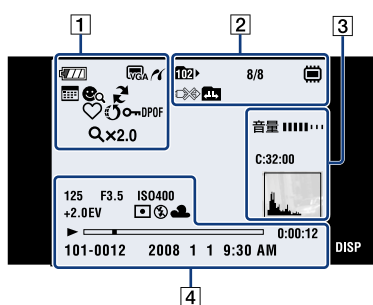
3 コピーが完了したら、“Handbook.pdf”をダブルクリックする。

画面に表示されるアイコン一覧

画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。
画面右下の DISP で表示設定を選ぶことができます（44ページ）。

静止画撮影時

• EASY（かんたん撮影）のときは、表示されるアイコンは制限されます。

動画撮影時

再生時

1

表示	意味
	バッテリー残量
	バッテリープリエンド
10M 5M 3M VGA 3:2 16:9+ 16:9 FINE STD 320	画像サイズ
	PictBridge接続
	スマイル検出感度インジケーター
W T ×1.3 S P	ズーム
1 2 3 4 5 6	ビューモード
	画像絞込み
	PMB書き出し
	お気に入り
	シェアマーク
	プロテクト
DPOF	プリント予約マーク
×2.0	再生ズーム

2

表示	意味
ON OFF	手ブレ補正
102	記録フォルダ
102	再生フォルダ

表示	意味
96	記録可能枚数
8/8	画像番号/再生フォルダ内画像枚数
00:25:05	記録可能時間(時：分：秒)
	記録/再生メディア(“メモリースティック デュオ”、内蔵メモリー)
	PictBridge接続中
	フォルダ移動
	おまかせシーン認識
	赤目軽減
	フラッシュレベル
	フラッシュ充電中
BRK ±0.3 BRK ±0.7 BRK ±1.0	撮影モード
	顔検出
	測光モード
	フォーカス
	AFイルミネーター
	手ブレ警告
	タッチAF表示
	色合い(ホワイトバランス)
	カラーモード

3

表示	意味
	AF測距枠
	セルフタイマー
D-R D-R Plus	DRO
	管理ファイルフル
音量	音量
C:32:00	自己診断表示
	ヒストグラム • 表示不能のときは⊗が表示されます。

4

表示	意味
●	AE/AFロック
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
ISO400	ISO感度
+2.0EV	明るさ(露出補正)
	測光モード
	フラッシュ
AWB	色合い(ホワイトバランス)
	マクロ/拡大鏡モード • [表示設定]が[画像のみ]の場合に表示されます。
	フラッシュモード • [表示設定]が[画像のみ]の場合に表示されます。
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間(分：秒)
►	再生
	再生バー
0:00:12	カウンター
101-0012	フォルダ-ファイル番号
2008 1 1 9:30 AM	画像の記録日時

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ **以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットハンドブック（PDF）」も参照し、本機を点検する。**

画面に「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットハンドブック」をご覧ください。

❷ **バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。**

❸ **設定リセットをする（47ページ）。**

❹ **サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。**

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ **ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる（裏表紙）。**

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種の修理において、不具合症状の発生/改善の確認のために必要最小限の範囲でデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製/保存することはありません。あらかじめご了承ください。**

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリー取りはずしつまみを押しながら、正しい向きに入れてください（11ページ）。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください（11ページ）。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください（9ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください（13ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 以下の場合はバッテリー消費が早くなります。
  – 温度が極端に高い、または低いところで使用している。
  – フラッシュ、ズームを多用している。
  – 電源の入・切を繰り返している。
  – DISP（画面表示）の明るさが[明]になっている。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください（9ページ）。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売）を使っての充電はできません。バッテリーチャージャー（付属）を使って充電してください。

撮影

撮影できない。

- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"の空き容量を確認してください（29ページ）。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
  – 不要な画像を削除してください。
  – "メモリースティック デュオ"を交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 静止画撮影時は、撮影モードを（動画）以外にしてください。
- 動画撮影時は、撮影モードを（動画）にしてください。
- 動画撮影時、画像サイズが[640（ファイン）]になっているときは、下記のいずれかを行ってください。
  – 画像サイズを[640（ファイン）]以外にしてください。
  – 内蔵メモリーまたは"メモリースティック PRO デュオ"に記録してください。

明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。

- スミアという現象で、白や黒、赤、紫などの縦線が出ます。故障ではありません。

再生

再生できない。

- ▶（再生）ボタンを押してください（18ページ）。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや、他機で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- 他機で撮影した"メモリースティック デュオ"では再生できない場合があります。フォルダビューで再生してください（33ページ）。
- パソコン内の画像を「PMB」を使わずに"メモリースティック デュオ"にコピーしたためです。フォルダビューで再生してください（33ページ）。

ワイヤレスネットワーク

ワイヤレスLANアクセスポイントとの接続ができない。

- ワイヤレスLANアクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- 本機とワイヤレスLANアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、通信可能距離が短くなることがあります。本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイント間の距離を近づけてください。
- アクセスポイントに接続するために、暗号キー（WEP/WPA）やその他の特別な設定（固定IPアドレス、プロキシ設定など）が必要か確認してください。
- アクセスポイント側でSSIDを隠す設定をしている。その場合、ネットワークの一覧に表示されないことがあります。アクセスポイント側のSSIDを管理者に確認して手動設定をしてください。またはアクセスポイント側で設定を解除してください。
- 公衆ワイヤレスLANのアクセスポイントでは、Webを使うなどの方法でログインIDやパスワードなどを入力しないとインターネットを使用できない場合があります。接続しているワイヤレスネットワークのサービスを確認してください。
- 電子レンジやBluetoothなど、2.4GHz帯の周波数を使用する機器を周辺で使用している可能性があります。それらの機器との距離を離すか、またはそれらの機器の電源を切ってください。

暗号キーが入力できない。

- 暗号キー（WEPキー、WPAキー）の確認方法について詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書あるいは機器底面の記載等でご確認ください。
- 暗号化方式によって入力できる文字数は異なります。

本機のMACアドレスがわからない

- MACアドレスを確認するには、接続テストで無効なSSIDを入れ、接続に失敗させてください。接続テスト後、本機のMACアドレスが表示されます。

画像の転送に時間がかかる。

- 機器間または、本機とワイヤレスLANアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、画像の転送に時間がかかることがあります。機器の場所を移動するか、機器間または、本機とアクセスポイント間の距離を近づけてください。
- 他のワイヤレスLANアクセスポイントと混信している可能性があります。ワイヤレスLANアクセスポイントで無線チャンネルの設定をして下さい。詳しくは、ワイヤレスLANアクセスポイントの取り扱い説明書をご覧ください。
- 電子レンジやBluetoothなど、2.4GHz帯の周波数を使用する機器を周辺で使用している可能性があります。それらの機器と本機の距離を離すか、またはそれらの機器の電源を切ってください。

ホットスポット（公衆ワイヤレスLANアクセスポイント）サービスに接続できない。

- ご契約のホットスポットサービス業者へ確認してください。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、液晶クリーニングキット(別売)を使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 ℃～ 40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

本機を廃棄するときのご注意

本機で[フォーマット]を行っても、内蔵メモリー内のデータは完全に消去されないことがあります。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

"メモリースティック デュオ"を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、"メモリースティック デュオ"内のデータは完全には消去されないことがあります。"メモリースティック デュオ"を譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、"メモリースティック デュオ"を廃棄するときは、"メモリースティック デュオ"本体を物理的に破壊することをおすすめします。

安全のために

→ 4ページもあわせてお読みください。

火災　感電

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

禁止

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

禁止

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

禁止

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

禁止

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、記録メディアは乳幼児の手の届く場所に置かない

禁止

電池などの付属品や“メモリースティック”などを飲みこむおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

指示

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

禁止

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

禁止

フラッシュ、AFイルミネーターなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

禁止

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

ワイヤレス機能ご使用上の注意

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する

指示

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

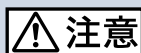
禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

指示

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

火災　感電

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

禁止

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

指示

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

プラグをコンセントから抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

禁止

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

禁止

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

指示

電池や"メモリースティック"などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

禁止

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。

⚠警告

禁止

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。

⚠注意

指示

- 電池は、+、– を確かめ、正しく入れる。

禁止

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照して下さい。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや"メモリースティック デュオ"などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の保障についてはご容赦ください。

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：7.7 mm（1/2.3型）カラーCCD原色フィルター
総画素数：約1030万画素
カメラ有効画素数：約1010万画素
レンズ：カール ツァイス バリオ・テッサー 4倍ズームレンズf=6.18 ～ 24.7 mm（35 ～ 140mm（35mmフィルム換算値））、F3.5（W）～ 4.6（T）
露出制御：自動、シーンセレクション（10モード）
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯1、2、3、電球、フラッシュ
記録方式（DCF準拠）：
静止画：Exif Ver. 2.21JPEG準拠、DPOF対応
動画：MPEG1準拠（モノラル）
記録メディア：内蔵メモリー 約4 GB*、"メモリースティック デュオ"
*容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また管理用ファイル、アプリケーションファイルなどを含むため、実際に使用できる容量は減少します。お使いいただけるユーザー容量は、約3.71GBです。
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度（推奨露光指数）がオートのとき）
約0.08 ～ 4.3 m（W）/約0.5 ～ 3.4 m（T）

[入出力端子]

マルチ接続端子 映像出力
音声出力（モノラル）
USB通信
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）

[液晶画面]

液晶パネル：ワイド（16：9）、8.8 cm（3.5型）TFT駆動
総ドット数：921 600（1920×480）ドット

[電源・その他]

電源：リチャージャブルバッテリーパック
NP-BD1、3.6 V
NP-FD1（別売）、3.6 V
ACアダプター AC-LS5K（別売）、4.2 V
消費電力（撮影時）：1.2 W
動作温度：0 ～ 40 ℃
保存温度：－20 ～ +60 ℃
外形寸法
撮影時：123.7×62.3×19.4 mm（幅×高さ× 奥行き、突起部を除く）
再生時：101.7×62.3×19.4 mm（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
本体質量（バッテリー NP-BD1、ストラップなど含む）：約198 g
マイクロホン：モノラル
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応
PictBridge：対応

[ワイヤレスLAN]

対応規格：IEEE 802.11b/g
対応チャンネル：1 ～ 13チャンネル

バッテリーチャージャー BC-CSD

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz、2.2 W
定格出力：DC 4.2 V、0.33 A
動作温度：0 ～ 40 ℃
保存温度：－20 ～＋60 ℃
外形寸法：約62×24×91 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約75 g

リチャージャブルバッテリーパック NP-BD1

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：2.4 Wh（680 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- 以下はソニー株式会社の商標です。
Cyber-shot、"サイバーショット"、"Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK™、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティックデュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティック PRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"メモリースティックマイクロ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、MAGICGATE、"ブラビアプレミアムフォト"、"InfoLITHIUM(インフォリチウム)"
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、MMX、PentiumはIntelCorporationの登録商標または商標です。
- DLNA および DLNA CERTIFIED は Digital Living Network Alliance の商標です。
- Adobe、Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、米国アドビ システムズ社のAdobe® Flash®の技術を搭載しています。

Adobe、Flashは、米国アドビ システムズ社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Living Connect、AVE-TCPを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、AVEは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™
NetFront®

- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnnを使用しています。

英語変換は、オムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnnを使用しています。
- 本製品は、Monotype Imaging, IncのiType™を搭載しています。
iTypeは、Monotype Imaging Inc.の米国における登録商標、並びにその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には ™、® マークは明記していません。

■困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

メモリースティック対応表
使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
また、その他の"メモリースティック"に関する情報も確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

付属ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

● **使い方相談窓口**
フリーダイヤル……0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話……0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「401」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

● **修理相談窓口**
フリーダイヤル……0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話……0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「401」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/

FAX（共通）:0120-333-389
受付時間：月～金 9:00 ～ 20:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

■カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan